

## 村上市総合計画審議会 会議録

会議名	第6回 村上市総合計画審議会
年月日	令和3年10月29日(金) 14:00~15:20
会場	村上市役所4階 大会議室
出席者	<p><b>【委員】</b>  飯塚委員、石黒委員、岩佐委員、大矢委員、加藤委員、川崎委員、吉川委員、木村委員、斎藤委員、佐々木委員、佐藤(伸)委員、佐藤(八)委員、宍戸委員(会長)、瀬賀委員、高橋(忠)委員、土谷委員、八藤後委員、山村委員、脇坂委員  ※欠席 高橋(豊)委員、渡邊委員(副会長)</p> <p><b>【事務局】</b>  企画財政課：大滝課長、田中課長補佐、田村副参事、渡辺主査、大倉主査、後藤主任  エヌシーイー：木野勢、杵鞭</p>
議事内容	
[進行] 事務局	<p><b>1 開会</b>  〈欠席委員の確認〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐々木重信委員は都合により遅れて出席。</li> <li>・高橋豊明委員、渡邊優子委員の2名が欠席。</li> </ul>
会長	<p><b>2 会長挨拶</b>  〈あいさつ〉</p>
事務局	<p><b>3 議事</b>  (1) 第3次村上市総合計画基本構想(素案)について(資料1、2-1~2-6)  (事務局が資料を説明)</p>
会長	<p>ただ今、事務局から資料1及び資料2について説明がありました。  ご意見をいただく前に、基本構想1ページのまちの将来像「あふれる笑顔のまち村上」について皆様のご意見を伺います。審議会としても従前からこの案で議論してきたところでありますので、審議会としては現行の「あふれる笑顔のまち村上」でよいのではないかと思います。改めて委員の皆様からご意見はございますか。</p>
委員	<p>「あふれる笑顔のまち村上」で問題はないですが、事務局からは、幼い子ども達が笑顔でまちを歩いているようなイメージの説明がありました。あふれる笑顔というものは子どもだけではなく、中学生、高校生、大学生、成人した我々、高齢者でも、やはり笑顔が一番大事だと思いますので、子ども達だけの笑顔というように捉えないようにしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、子ども達だけではなく、様々な世代の笑顔をイメージしております。</p>
委員	<p>資料1について、読みやすくなったのではないかと思います。文字の間隔も少し開けていただいたようで、そういった細かいところの配慮は大事だと思います。</p>

委員	<p>資料２－６のとおり、基本構想４ページの「子育てと健康のまち」に対する意見を提出し、これに対する市の考え方・回答をいただきましたが、改めて私の意見をまとめてきたので、皆さんに聞いていただいて、ご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>基本構想４ページの３．まちづくりの基本目標「(1) 子育てと健康のまち」について、表題を「地域共生と健康のまち」に変更していただきたいと思います。理由１、子育てしやすいまちは、人口減少、少子高齢化の現状の下で、重要な目標の一つであると私も思います。このまちに住む人々にとっても同様、子育てしやすいまちイコール住みやすいまちは、重要な課題であり目標です。すなわち、地域共生社会実現は、市民にとって究極の目標であると思います。理由２、村上市には、子育て、高齢者、障がい者、難病者、生活保護、引きこもりなど、多くの分野で様々な問題が山積しています。それに対応する市の福祉体制は、基本構想の理念に照らして、対等平等な位置付けが必要だと思えます。その観点からしても、表題は、「地域共生と健康のまち」が相応しいと思います。これを土台にして、基本計画政策１の各計画を推進するべきだと思えます。ご審議をよろしく願います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただ今の意見につきまして、委員の皆様からご意見を賜りたいと存じます。</p>
委員	<p>今の意見はとても大事なことだと思えました。私は、今の提案はとてもよいことではないかと思えました。</p>
会長	<p>会長である私が意見を述べることは、本来はばかられるものではありませんが、一委員として意見を申し上げたいと存じます。</p> <p>私の意見は、現行のままでよいかと思えます。もちろん、地域共生社会を目指すことについては、否定するべきものではなく、進めるべきものだと思います。概念として、地域共生社会という言葉には、子育て以外に高齢者、障がい者など様々な福祉分野が入ってくる思います。ですから、委員のご意見は間違っていないと思います。ただ、今般の第３次村上市総合計画について考えた場合に、委員の皆様の見解や様々な団体へのヒアリング結果などを踏まえますと、やはり子育てのニーズが大きいということから、この子育てについては、村上市として全面的に出してみたらどうでしょうか。</p> <p>繰り返しますが、地域共生社会を目指すことに変わりありません。取組を続けていかなければならないものであります。一方で、村上市の将来を考えた場合に喫緊の課題ではないかということで、子育てを前面に出すということは、あながち否められるものではないということで、私は原案のとおりでよろしいのではないかと意見を申し上げます。</p>
委員	<p>現在子育てをしている立場として意見を述べさせていただきます。「子育てと健康のまち」といった表現には、子育て世代のニーズが表れていて、すごくよいと思います。私達くらいの世代では、子育てに関する不満は多くあってもどこに言えばよいのか、こうして欲しいああして欲しいということがあっても、実際にそれが市に届くまでにどれくらいの時間がかかるのかわからないという方がほとんどだと思います。ですから、子育てについて市としてしっかり考えているというアピールの仕方としては、「地域共生と健康のまち」という括りにしてしまうと、そこに子育てに関するイメージがつかないと思います。「地域共生と健康のまち」とすると、どちらかといえば高齢者福祉や健康診断などの健康面と捉えられると思います。</p>

委員	<p>今話を聞いて、確かに「子ども」という言葉が入っていないと、子育てが軽視されているような感じがしてしまうということは、私も思います。できれば「子育て」を独立させる形を取ればよかったのかとしみじみ思います。</p> <p>一つ提案なのですが、「健康」という言葉は非常に幅広い概念があって、様々な定義があるらしいですが、世界保健機関では、精神的にも社会的にも調和のとれた状態ということで「健康」を定義していますので、そのようなことを用語解説か何かにしっかり書き込んでいただいて、身体だけの健康ではなくて、社会的にも健康であるという要素をどこかに強調していただければよいのではないかと思います。ただ、できれば「子育て」と「福祉」はそれぞれ独立させた方がわかりやすいのではないかと思います。</p>
委員	<p>「子育てと健康のまち」という当初案に賛成です。理由としては、今までの審議会でも積み上げてきた結果ということもありますし、今回大きな5本柱ということで基本目標を挙げておりますが、言葉の並びとして、非常にわかりやすい言葉で、端的に表現されている方が、頭に入りやすいという印象があります。「地域共生」も悪くはないのですが、何をイメージしているのかを一般の方に受け入れられるのかということ、そうでもない。誰にでもわかりやすい言葉という点では、「子育て」は非常にわかりやすいですし、特に人口減少の問題など非常に課題がある中で、村上市は重点的に子育て支援に取り組んでいくという方が、幅広い層に受け入れられやすいのではないかと、当初案に賛成です。</p>
委員	<p>ゼロから考えるのであれば、特に重要だということで、もしかしたら「子育て」は分けて、「子育てのまち」と一つ括った方がよいのではないかと、思うのですが、これまで積み上げてきたものもありますので、そういった中で考えると、この項目の中で重要なことということで「子育て」を一番目に挙げているということですので、原案でよいと思います。もしもゼロから考えるのであれば、「子育て」は村上市にとってこれから大事だということであれば、一つにするということも、一度戻ることになるかもしれないのですが、よいのではないかと思います。</p>
委員	<p>「地域共生」というと、範囲がかなり広がってしまう感じがしまして、どちらかということ、「(5) 多様性が広がるまち」の方のイメージを持っています。「(1) 子育てと健康のまち」は、子育てや福祉という部分を中心としたものですので、タイトルとしてはあまり広げてしまわない、今の案の方がよいかと思っております。</p>
委員	<p>それぞれ皆様方のお考えというものは、多々あるかと思います。では、この案で悪いことはあるのかと粗を探した場合に、何もないのです。この案の中で言おうとしていることは、子育てもそうですし、健康もそうですし、会長がおっしゃったとおりの考え方だと思います。ですから、悪い点があるのかということを見たら何もない。ということは、これでよいのではないかと結論に至るわけです。これが私の意見です。</p>
委員	<p>言葉尻や文章よりも、私が一番大事にしなければならないと思うのは、それをやるかやらないか、これからの年次計画として実際に行動していけるのかいけないのかです。目標を掲げるだけならば誰でもできるので、皆さんの総意の下で目標ができたのなら、それに向かって進んでいく取組にもっと力を入れた</p>

委員	<p>方がよいと思います。</p> <p>「子育て」を別立てしておけばよかったのかとしみじみ思いましたが、これを「子育てと健康福祉のまち」と一言加えたら、福祉という要素が表に見えて、冒頭に委員がおっしゃったような気持ちが伝わるのではないのでしょうか。一言「福祉」を加えれば済むのではないかと思いました。</p>
委員	<p>皆様のご意見ありがとうございます。私としては文章を変更するという事は時期的に難しいとは思いますが、要望として発言させていただきます。</p> <p>子育てについては、一に出会いがあって、結婚して、妊娠、出産、そして子育て、小中高校を経て大学に行かれる方もおりますが、それまでが親の努め、親権ということになっておりますので、この「子育て」も今言った流れからすると、途中で結婚を解消して、どちらかが親権者として子どもを育てている、いわゆる母子家庭の方達もおりますし、この子育てというところにどれくらいの含みを持たせていらっしゃるのでしょうか。お母さん方も様々な条件があって、世の中では最近子どもを虐待するということが日常的にあるような状態です。それが村上市内でどれだけ起こっているのかもわかりませんが、「子育て」は長いスパンの中での大事な部分だとは思いますが、そこにどのようなイメージを膨らませているのかということをお聞きしたいと思います。それによって皆様のご意見に従っていききたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>子育てにどれくらいの想像力を膨らませているかといったご質問に対して、この場で上手くお答えできるかどうか自信がありませんが、「地域共生」の考え方について、事務局では「(5) 多様性が広がるまち」の中で、女性や高齢者、障がい者、外国人なども全て含めて、誰もが活躍できる場所に落とし込んでいくイメージで作っております。</p> <p>「子育て」にどれだけのエネルギーや想像力を持っているのかということについては、先ほど委員がおっしゃられたように、目標を掲げた後に、どのように事業に落とし込んで、取組を進めていくのかということになるかと思っております。これについては、基本計画を基にして、さらに具体的な事業に落とし込んでいくような形になります。子育て支援施策の範囲としては、出産する前の段階から大学を卒業してUターンするまでにわたって用意していますので、長い期間での取組になると考えております。</p>
委員	<p>これまでの話を聞いていて、委員がとても強調する気持ちがわかりました。「(1) 子育てと健康のまち」といった表現を見た時に、順調に行っている方達の思いみたいなものが多く含まれているような気がします。コロナが流行する前から大変な思いをしている人が周りに多くいるので、そのような人達に対する思いみたいなものが見出しの項目からは伝わってきていないと感じました。ですから、私が先ほど言ったように、「子育てと健康のまち」に「福祉」の言葉を一言入れることで解決するのではないかと思いました。村上市は子育てと保健福祉に力を入れているということがここで強調できるのではないかと思います。そのような福祉的な要素を世の中も非常に求めていると思うのですが、それが見出しから見えてこないと感じます。</p>
委員	<p>大変貴重な意見が多く出ているのですが、個人的には会長がおっしゃるように、村上市には5万人以上の市民がいて、それぞれの人がそれぞれ考えるわけ</p>

<p>会長</p>	<p>ですから、私はこの文面でよいかと思えます。</p> <p>多くの委員の皆様からご意見を賜りました。ありがとうございました。</p> <p>各委員からのご意見を拝聴いたしますと、確かに委員のご指摘も筋としては通っていると思えます。ですが、やはり原案で間違いがあるのかということ見受けられない。もう一つ委員からご指摘がございました、むしろ何をするのか、何に取り組んでいくのか、実行するのかということところが重要ではないかといったご意見を踏まえたと、私は当初案でもよいのではないかということが、この審議会としての意見ではないかと推察いたします。この件につきまして、原案のまま進めてもよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは原案のとおりとさせていただきます。ただし、委員からのご指摘はまさにそのとおりでありますので、そしてまた、実際に何をやっていくのかということが、今後市としても求められるところですので、その点は事務局もしっかり心がけていってくださいますよう、お願いいたします。</p> <p>他にございますか。特段ないようでしたら、議事（１）につきましては、素案を認めるということで進めてまいりたいと思えます。</p> <p>続きまして、議事（２）に移りたいと思えます。事務局は説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>（２）第３次村上市総合計画基本計画（素案）について（資料３、４－１～４－４）</b> （事務局が資料を説明）</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今資料３及び４について説明がありました。特に資料４－３、４－４につきましては、本日拝見したものでありますので、これらも含めましてご質問あるいはご意見等がございましたら賜りたいと存じます。</p>
<p>委員</p>	<p>環境に関することについて全体を通して言いたいのですが、例えば、政策２－９公共交通の主要施策２「利用しやすい車両の導入と待合環境の整備」で「②ＥＶ車両等の導入による二酸化炭素排出量の削減を図ります。」となっていますが、ご存じのとおり電気自動車イコールエコでもないのです。日本での発電のうち、７５～８０％くらいが化石燃料による発電です。化石燃料を焚く場所が新潟東港等の火力発電所で、それを送電線で持ってきてバッテリーに蓄えている状況をエコとは言えない。再生可能エネルギーで発電して電気自動車で走るのであればまだしも、遠く離れたところで天然ガス、石炭を燃やして持ってきて、送電線で電気ロスを起こして、またバッテリーに蓄えて、バッテリーの行く先も決まっていなくて、かなりの有害物質があるにも関わらず電気自動車イコールエコだというような勘違いが世の中に通っているということにも気を付けなければいけない。バイオマスのことでもそうですし、些細なことですが「発電」という言葉だったり、電気自動車イコールエコということではないということだったり、そういった部分に市役所の方も気を付けていただきたい。専門家の話も聞きながら、バイオマス発電のことや電気自動車のことなど、気を付けて書く必要があると思いました。</p>

委員	資料４－３のNo. 4で「公助」は「共助」の間違いではないかと思うのですが。
事務局	「共助」の誤りです。申し訳ありません。
会長	<p>続きまして、ご質問等はございますか。</p> <p>特段ないようでしたら、確かに書き方にはセンシティブなところもございますので、事務局においても十分気を付けるようにというご意見を賜りましたので、事務局はその点を十分留意してください。</p> <p>では、議事（２）につきましては、議案のとおり進めていきたいと思えます。次に議事（３）に移りたいと思えます。答申文（案）について、後ほど一委員として私から意見を申し上げたいと思えますが、まずは事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 会長	<p><b>（３）答申文（案）について（資料５）</b></p> <p>（事務局が資料を説明）</p> <p>（宍戸会長が説明）</p>
委員	進捗状況を確認するための会議があるとの事務局説明でしたが、その具体的なイメージについて、どのような方が何人くらい集まり、どの程度の頻度で開催するのかを教えてください。
事務局	進捗管理につきましては、進捗検討会議を開催しております。会議の構成メンバーは８名で、開催頻度は年２回程度となっております。
委員	この８名の方は、一般公募ではなく、学識経験者や企業の経営者などでしょうか。
事務局	構成メンバーにつきましては、産業界や金融関係、教育関係、行政機関などとなっております。
委員	質問ですが、進捗検討会議のメンバーに、総合計画審議会の委員は入っているのでしょうか。
事務局	第２次村上市総合計画を策定した際の審議会委員から１名参加していただいております。
会長	この文言を書いた私といたしましては、市の事情もあるでしょうから、具体的なやり方は市役所に任せるにしても、やはり、少なくとも計画立案に携わった我が審議会としても進捗管理を見ていく必要があると考えています。私の思いとしては、当審議会として関与していきたいということから、この文言を書いたわけでありまして、それを市長がどのように判断されるかはまた別になりますが、少なくとも答申の際には言っておきたいということで書かせてもらいましたが、よろしいでしょうか。
委員	進捗検討会議については初めて聞きましたが、やはり各政策分野に関して得意不得意があると思うので、各分野について、実際に様々な問題を抱えている方々などが参加すれば、非常に話が進みやすいのではないのでしょうか。実際に

委員	<p>活動していく中で、得意分野の部分については大いに語っていただき、その結果を第4次村上市総合計画策定の参考としていくような方向性がよろしいのではないのでしょうか。</p> <p>客観性について気になったところがあります。私は、今回自分も審議会委員として関わったので、この後どうなっていくのかがやはり気にはなりますから、進捗状況をちゃんと見ていきたいと思います。ただ、評価する際、やはり計画を作った人の思いというものはどうしても入れて欲しいといったこともあります。実際にやっていることと計画で言っていることがマッチしていないなど、様々なことが出てきた時に、客観的に見てもらうこともある程度必要だと思います。例えば、審議会で協議を行った人から意見を聞くなど、どのような形がよいのかは少し迷いますが、皆さんはどのようにお考えか聞いてみたいと思います。</p>
会長	<p>この文言を作った私から答弁してもよろしいでしょうか。ここでは「関与するなど」としています。それこそ我ら21名全員が進捗検討会議の委員になっても、あまり意味がないわけであります。やはりそこは、客観的な判断として我ら委員とは違う人が加わった検討会議であって然るべきだと思います。その方がむしろ客観性は担保されるかと思えます。ですから、この「委員も関与するなど」という言い方にしているところでございます。また、客観性の議論は、どちらかという情報公開で担保するべきではないかと思えます。要は、この審議会と同様、もちろん皆様の名前は伏せますが、審議会での意見や議論について、市民の皆様へホームページを通じてお示しすることによって、この委員会は客観性が担保されているのではないかと考えております。やり方は市役所に任せたいと思いますが、そういったことも含めて考えていただきたいということを市長に申し上げたいと思っております。加えてもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>検討会議で話された内容などは、文章に起こしてホームページで公開されているのですか。</p>
事務局	<p>進捗検討会議の内容については、ホームページで公表しております。ただ、総合計画審議会のように、どのようなことを話したかといった形ではなく、要約の形で、このような意見をいただきましたというように書いております。進捗検討会議を開催するにあたり、総合計画については分野が非常に広範囲に及ぶため、どこからどこまでの話をするのかということは、私達も苦心をしておりますし、できるだけわかりやすい話をして、委員の方から多くのご意見をいただきたいと思っております。第3次村上市総合計画が始まりますと、これに合わせて進捗をどのように見ていくかということを考えることとなりますので、そうした中で、よりわかりやすい形を考えていきたいと思えます。また、これまでと同様に、どのような話をしたのか、資料はどのようなものを出したのかということについては、ホームページで公表していきたいと考えております。</p>
会長	<p>ご意見をお伺いいたしますと、この案で進めさせていただくということでもよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、この案で進めさせていただきたいと思 います。11月8日に私と副会長から市長に答申いたしたいと存じます。 本日用意した議事は以上です。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 その他  (1) 第3次村上市総合計画の答申日  (事務局が説明)</p> <p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>